

自分の暮らす

まちを

楽しむ。



巻の町人(まちびと) 土田真清  
生業:新潟市職員

Copyright 2013 The Authors. Copyright 2013 Japan Center for Cities. All Rights Reserved.



## ●現在，行っている地域活動

- 1 鯛車復活プロジェクト
- 2 旧醤油蔵「中吉川」プロジェクト
- 3 巻まちなかガイド

これら全ての目的は「人と人のつながり」をつくること！  
「人口密度」 → 「人交密度」

「地域の誇り」と「心豊かな暮らし」を取り戻す



鯛車復活プロジェクト

# 越後 巻の郷土玩具「鯛車」



「鯛車」は、江戸末期から巻に伝わる竹と和紙でできた郷土玩具。  
お盆の夕暮れどきになると、子どもたちがいくつもの鯛車にロウソクを灯し、  
ガラガラゴロゴロと家の周りを引いて歩いた。  
その情景は、やがて収穫の秋に入ろうとする晩夏の風物詩であったが、  
時代の変遷とともに「鯛車」は、いつしか巻から姿を消していった。



## 野口基幸との出会い



すべては、この1台の「鯛車」から始まった

# ● 意気投合した二人で 「鯛車復活プロジェクト」を立ち上げる！

## ★プロジェクトの目標

- ・昔のように、鯛車の灯りでまちを真っ赤に染めること
- ・そして、心豊かな暮らしを取り戻すこと

## ★目標を達成するために

- ・鯛車を作れる人を増やすこと
- ・あわせて、鯛車の素晴らしさをPRすること

# ● 鯛車制作教室 (作り手を増やす活動)







鯛車制作教室は年2～3回のペースで開催。  
これまでの参加者は延べ300人以上となった(自動的に鯛車も増殖)。  
多世代の交流が生まれ、コミュニティづくりの一助となっている。



小学校における「鯛車制作教室」も  
並行して開催。地域の伝統文化の  
素晴らしさを次の世代にも伝えている。



# ● 鯛車のイベント（鯛車をPRする活動）



まちの人に「鯛車」の素晴らしさを伝える「鯛車展」



巻の鯛車を一堂に集め，商店街の空き店舗で毎年お盆の時期に開催した。



昔の情景を復活させるため、お盆の墓参り時に「鯛車」の貸出しも行う。年を追うごとに人気上昇！

Copyright 2013 The Authors. Copyright 2013 Japan Center for Cities. All Rights Reserved.





# ●鯛車のイベント(巻以外でPRする活動)



日和山神社祭礼



地域の「宝」は、  
当たり前すぎて  
地元では認識さ  
れにくい。

そのために、  
「外」から鯛車  
や巻を認識、  
評価してもらう。



千灯まつり



# 水と土の 芸術祭

みかつち



# 鯛車」は表参道の人気者



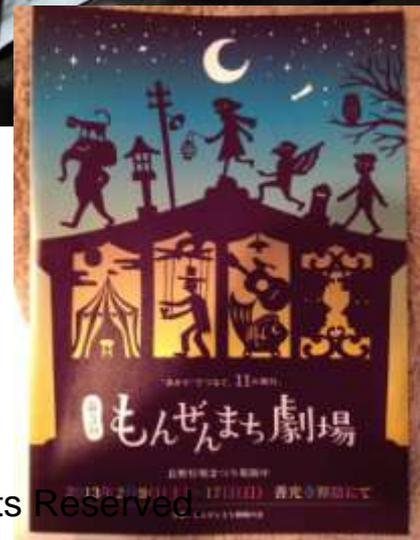
毎年、夏至の日に合わせて行われる「表参道キャンドルナイト」に参加。  
ネスパスで教室を開き、そこで作った鯛車を表参道で引いて歩く。

Copyright 2013 The Authors. Copyright 2013 Japan Center for Cities. All Rights Reserved.



2013年2月

長野市・善光寺門前で鯛車制作教室を開催  
灯明まつりに参加し、鯛車が注目を浴びる



# ● 鯛車の拠点「鯛の蔵」

古い土蔵を改装して工房 & ギャラリーに



# ●鯛車の拠点「鯛の蔵」

古い土蔵を改装して工房&ギャラリーに 2011年7月オープン



# ●カチニナッタ「鯛車」の波及効果



# ● まき鯛車商店街

わがまち、巻の商店街をみんなで探検してみませんか?

一店一宝 店主のお宝を探してみよう!

↑赤いのぼりし このステッカーが目印!

おいしい、あったかい...  
なつかしい、めずらしい!  
そんな再発見が、ここには  
たくさんあります! ^o^

新発見 & 再発見  
まき鯛車商店街  
<http://www.taiguruma-syouten-gai.com>

平成22年5月15日より、私たちは愛称「まき鯛車商店街」としてスタートします!

駅通り商店街・二区商店会・三区商工親交会・四区商店街・五区中央商店街・二丁目商店街・八区商店街・九区商店街  
高校通り商店街・下町商店街・愛宕地区参加店、ほか参加各店 (順不同) 企画・実行 中央商店街商売繁盛実行委員会

**H22.5.15 スタート!!**

●こんなモノもできました！

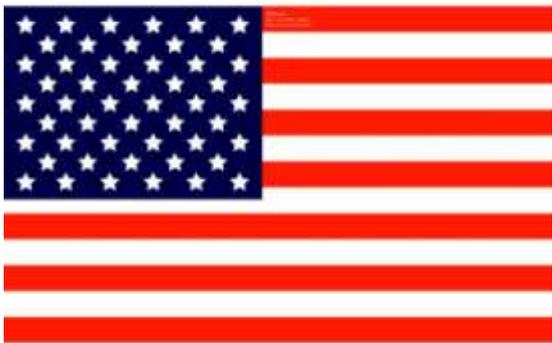
伊勢みずほさん命名の  
「めで鯛ザー」



「めで鯛ザー」と巻の地酒を使った  
オリジナルカクテル「まき鯛モヒート」

# これまでの活動が認められ、2011年 第4回ティファニー財団賞「伝統文化振興賞」を受賞





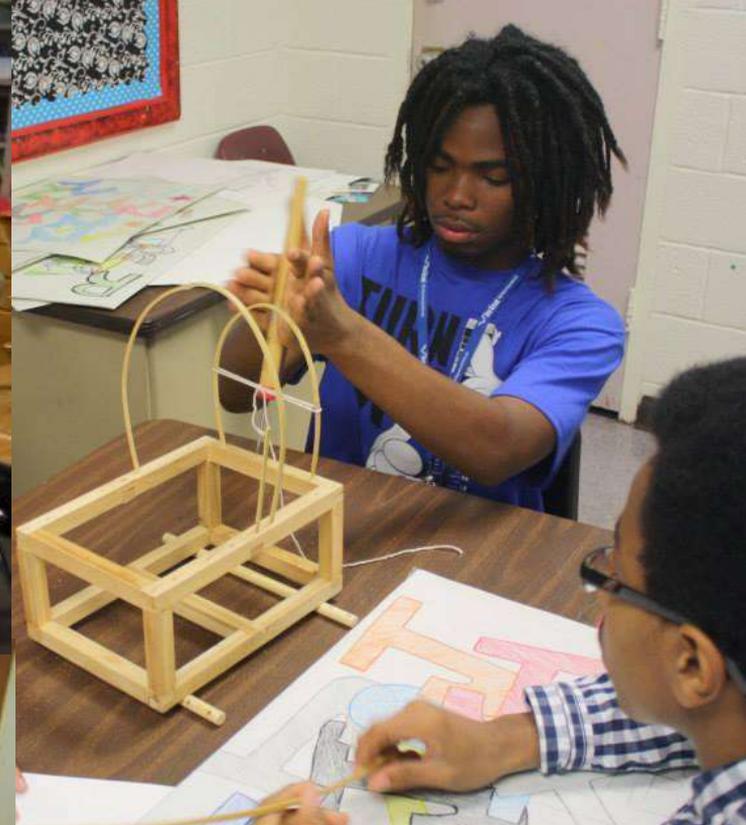
2013年，鯛車は海を渡り、  
いよいよアメリカに進出！





6月には新潟市の姉妹都市，米国テキサス州ガルベ斯顿市から「鯛車チーム」が来日。巻に10日間滞在して，鯛車の制作技術を学んだ。11月には，ガルベ斯顿で鯛車WSを開催する。





# 旧醤油蔵「中吉川」プロジェクト



巻の中心市街地，いわゆる「まちなか」のランドマーク，  
コミュニティのハブとしてその活用を考え，実行するプロジェクト

# 「中吉川」は江戸後期から昭和初期まで、 醤油や味噌などを製造していた醸造元





## 古びたトタンをはぎ、板張りをする



3時間ほどで作業終了。いい感じに仕上がった。早く隣もやりたいなあ・・・

Copyright 2013 The Authors. Copyright 2013 Japan Center for Cities. All Rights Reserved.

# 板張り作業第二弾！今回は，市民の力を借りる



# 現在のご当主夫妻が元気になった！



# 次のステップは「中吉川」の活用





つきまち  
月待通り  
鯛の宵  
の中秋



古い商家の蔵が今も残る東浦通り。  
この通りはまた、軒を連ねた料亭、茶屋から  
三昧の音がした花の街。  
中秋の月の夜、風情のある賑やかな通りを再現したい、  
それが月待通り「鯛の宵」。

九月二十九日 土曜日 午後六時から九時

東浦通り・駅通り・駒通り  
東浦通り・駒通り

● 月待灯り

東浦通り・月待茶屋をロウソクの灯りでほのかにライトアップ  
巻北小・巻南小児童制作によるアートキャンドルも初登場

● 月待鯛車

ロウソクを灯した「鯛車」を引いて  
風情のある通りを散策しませんか。  
「鯛車」の貸し出しは「中古川」で（記念撮影もあり）

● 月待茶屋

「中古川」茶場跡で茶席、琴などの演奏、秋のうた独唱  
季節のしつらえ、草木染め布のインスタレーション  
東浦通り・駅通り界隈の飲食店が特別メニューでおもてなし有料  
当日は、鯛車などが当たるスタンブラリーも行います。  
今回の月待茶屋は十六店。入口の「鯛車」が目印です。

- 「鯛の宵」開催一覧(予定)
- 秋の宵(中宵川) 菓子家流 浅原宗室中、子ども音楽部「巻川」主催
  - 巻の宵(中宵川ほか) 山田流 佐藤晴彦中、子ども音楽部「初音」主催
  - 秋のうた(中宵川) 高門優子
  - 巻の宵(中宵川ほか) 五十嵐麻水
  - 巻川と巻川おむすび(巻の宵ほか) 三太郎「小豆餅」・高野・陣子/佐藤節
  - 巻川・尺八の演奏(巻川 巻ともむ)
  - 巻川・金子春香、中島節子、尺八/山崎隆洋
  - 巻川一帯川音楽、巻川おけよ〜(日本料理 三太郎)
  - 巻川/巻川会、巻川/新巻川研究會
  - 巻川/巻川会、巻川/新巻川研究會

新巻川地区まちづくり協議会/巻川会/巻川地区活性化プロジェクト  
「巻川」茶場跡をまちづくり協議会/巻川会/巻川地区活性化プロジェクト  
巻川地区プロジェクト/日暮宗彦「中宵川」プロジェクト/巻川通り・駅通り界隈の店参加  
元カネ亭 巻川第一楼、エミールガレ、ひろ子、巻川三太郎、スタンブのころ、巻川と巻川  
三太郎、カフェバー、巻川ワンモア亭、山小島、いこい茶屋、巻川茶屋、巻川茶屋

「鯛の宵」は、中吉川と鯛車、  
周辺の飲食店のコラボによる夜のイベント  
参加する全ての人が「主役」である



# スタッフとして...





おもてなし役として





巻の思い出づくり役として



# そして、お客様を迎える役として





# 2013年, 新たなプロジェクトがスタート 中吉川Apartment Project



空き部屋をリノベーションして、  
コミュニティ・ラボラトリーに

何に生まれ変わるか，乞うご期待！



●昨年の作業の様子  
「板張りプロジェクト」がスタートした 2010 年  
には、今回と同じく東浦通りの中吉川さんの  
旧醤油蔵で7月と10月に作業を行いました。

あなたの“力”を  
貸してください。

巻のまちなかを修景する「板張りプロジェクト」

## 7月24日「吉桑」さんの“蔵”の巻

江戸時代の町割が残る巻のまちなかには、  
歴史に培われた建物が多く残っています。  
しかしながら、それらは時代の変遷とともに  
いつしか次第に忘れ去られ、建物本来の意義や  
それにまつわる歴史なども語り継がれることが少なくなっています。  
「板張りプロジェクト」は、市民主導・参加のもと  
巻の歴史や人々の営みを支えてきた建物を修景し、  
それぞれの歩みを語り継ぐと共に  
風情のある町並を再生する取り組みです。

- 日 時／7月24日(日) 9:30～15:00
- 会 場／「吉桑(よしくめ)」外蔵 新潟市西蒲区巻甲2920 東浦通り
- 内 容／蔵の修景作業 トタンをはがして板を張り、塗装します
- 参加費／2,000円 板1枚分
- 持ち物／昼食、作業しやすく汚れてもよい服装、かなづち、軍手など
- 日 程／ 9:30 受付  
9:45 開会・趣旨説明  
9:50 「吉桑」の歴史の話  
10:00 作業の説明  
10:15 作業開始  
12:00 昼食(各自で)  
13:00 作業開始  
15:00 作業終了・解散

参加者募集中!

【申込み・問合せ】  
巻商工会  
商店街活性化  
プロジェクト  
☎ 0256-72-2026  
担当:永井

# 巻のまちなかを修景する「板張りプロジェクト」。 「中吉川」に続く第二弾として「吉桑」の蔵を手がける



# 巻大好き人間増強作戦！ 「巻まちなかガイド」養成講座



●「巻まちなかガイド」養成講座

発見しよう！  
巻の「まちなか」の魅力

「まち歩き」で探す  
巻のまちなか

「まち歩き」を通じて、巻のまちなかに残る歴史や文化、魅力あるポイントなどを再認識するとともに、多くの人に対してその魅力を広く発信するため、まちなかを案内できるガイドさんを養成します。

● 出 発 予定期日の午後1時～3時(10月24日を除く)

- ① 10月12日(出) 巻人から学ぶ「巻の基礎知識」上、巻人から学ぶ「まち歩き」上、まち歩き①
- ② 10月20日(出) 巻人から学ぶ「巻の基礎知識」下、まち歩き②、まち歩き③(仮題)
- ③ 10月 27日(日) まちなか案内の是非を体験  
-「巻のまちなか案内コース」に沿ってみえろ-
- ④ 10月 28日(日) 巻のまちなかの発見とマップづくり
- ⑤ 10月 29日(日) 全国観光ヤマト(巻巻をテーマにした)

● 11月 7日(日) 巻のまちなかをテーマにした巻のまちなか案内を実施、マップ完成、完成会(仮題)

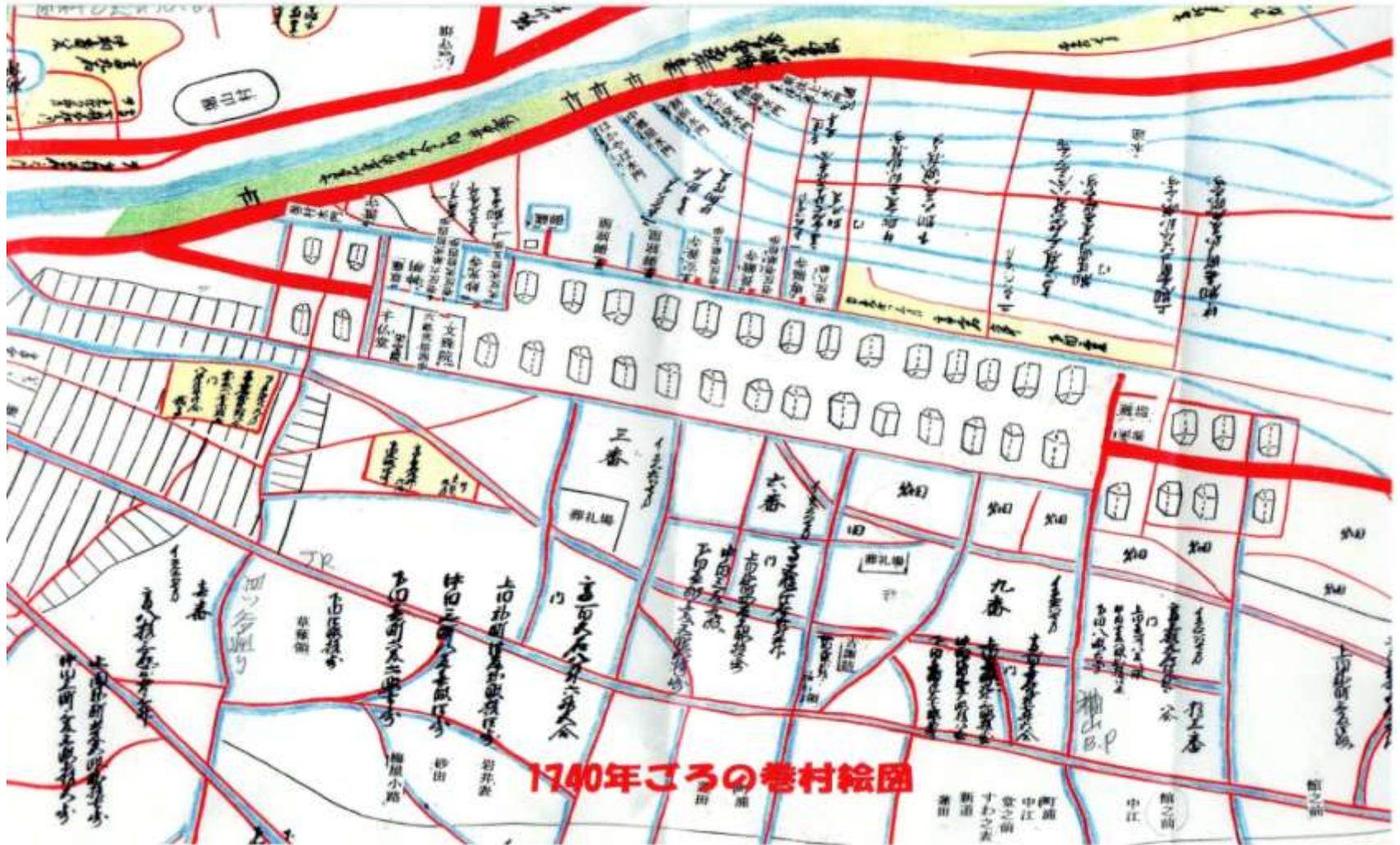
- 趣 向 巻のまちなか
- 申 込 趣 向 巻のまちなか、巻のまちなか
- 参加人数 定員20人(区別の棟別に定員は異なります)
- 申込締切 9月16日(金)
- 土 曜 巻のまちなか(巻のまちなか)
- 共 催 巻のまちなか(巻のまちなか)
- 協 力 NPO法人まち歩き協会

【問合せ・申込み】巻地区公民館 0772-33329

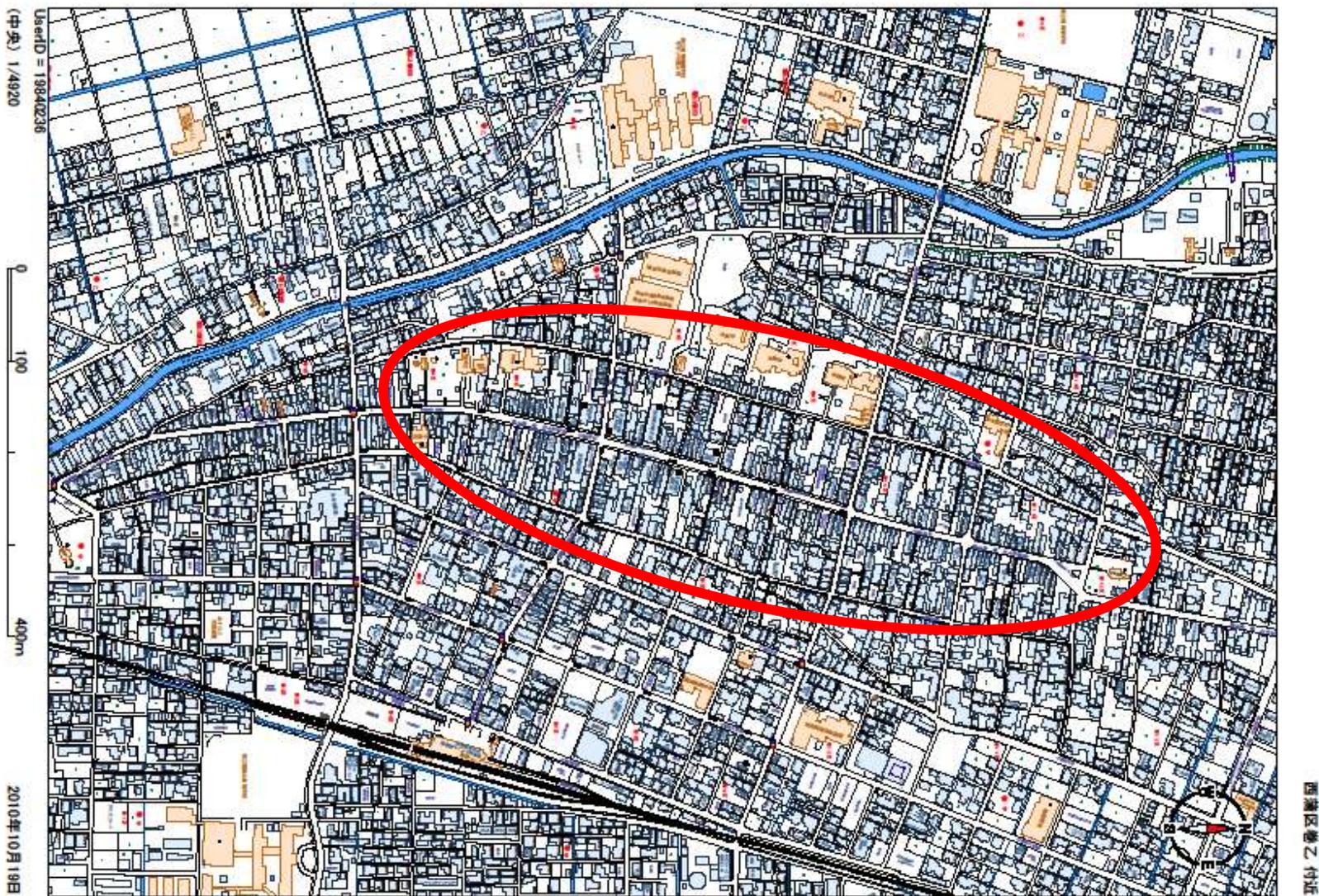


# 「巻」は、長岡藩によってつくられた 「水路のまち」

## 〔1740年頃の巻村絵図〕



# 江戸時代の町割がそのまま残る「巻のまちなか」



# こみち みずみち 小路・水路・巻のまち



会津に移封される慶長3(1598)年には庄左衛門も同行し、間もなく巻館も奥城になったと考えられます。

## ■巻代官所

元和4(1618)年、牧野忠成が長岡藩主となり、牧野氏による郷村支配が始まります。長岡藩の藩政執行の最高責任者は家老で、その下に中老・奉行が置かれ、彼らの合議で諸事を決定しました。その下には、町奉行(長岡町)、新堀町奉行、郡奉行、寺社奉行、勘定役、諸役がおかれしました。

当時の巻は、「郡奉行」の支配下にあり、直接民衆と接する現場役人が「代官」です。長岡藩成立期の藩原は「巻御蔵組」と「吉田御蔵組」の2組に編成され、巻と吉田に代官所が置かれていました。



寛永11(1634)年の与板・三根山分知で吉田代官所の管轄地域の多くが与板・三根山領となったため吉田代官を廃止。その後には、巻城主として「西山庄左衛門」の名が登場します。西山庄左衛門は、文禄3(1594)年の上杉氏家臣の定納高と軍役人数を書き上げた「定納員数目録」では、与板城主の「直江兼続」の家臣で「与板衆」と呼ばれる者の一人です。その後、上杉氏が

寛永11(1634)年の与板・三根山分知で吉田代官所の管轄地域の多くが与板・三根山領となったため吉田代官を廃止。その後には、巻城主として「西山庄左衛門」の名が登場します。西山庄左衛門は、文禄3(1594)年の上杉氏家臣の定納高と軍役人数を書き上げた「定納員数目録」では、与板城主の「直江兼続」の家臣で「与板衆」と呼ばれる者の一人です。その後、上杉氏が

## ■巻村組の割元(大庄屋)

藩原長岡領は巻・管根の2組に区分され



ていましたが、これらの組はさらに水陸の要地に設けられた郷蔵(ごうざう)を中心にいくつかの小組に分けられ、1組1人ずつの割元(大庄屋)が任じられていました。

巻組は巻・漆山・佐渡山・吉田・栗生津・の5か組、管根組は次上・管根・中野小屋・坂井の4か組がそれで、このほか米納津と横戸村にも郷蔵がありましたが、組は置かれませんでした。

巻5か組の割元(大庄屋)を務めた家は、栗生津組は和田佐之助家、佐渡山組は野神瀬兵衛家が代々世襲し、吉田組は天和3(1638)年、治部左衛門家(姓不詳)に代わって富所太次兵衛が就いて以来同家が幕末まで務め、巻村組は寛延2(1749)年までは桶浦家、以後が南須原家、漆山組は最初の田辺藤右衛門から幕末まで何回か交替がありました。

巻の南須原家は現在の新小路の一角にあり、明治維新後には巻村戸長、初代巻町長を務め、敷地や建物を町会所(役場)や小学校として一時提供しています。

## ■巻の商人

「館源」は、現在の第四銀行巻支店のとこ



ろにあった豪商です。館柳湾や巻菱湖を一時預かり養育しました。巻に巻がきたことを知らせる「銀行福荷の祭り」の福荷も元を正せば館家のものでした。

「松屋」は現在地とにいだやを併せ持ち、延享2(1745)年に隠居分家として中郷屋の庄屋を出したほどの豪商でした。その他、加賀屋は真田の庄屋の本家であり、中吉川も木島の庄屋株を持っていたといえます。さらに、幕末動乱の打ちこわしの最大の被害者であった「吉野家」、その向いの「大和や」、上・下の「田丸屋」などの豪商がいました。

## ■寺町

巻の小字にも残っている「寺町通り」には、現在も4つの寺があります。



## ■妙光寺(みょうこうじ)

大岩山妙光寺(浄土真宗本願寺派)は、清和天皇(9世紀)の子孫にあたる井上義遠(別書では、井上越後守光清)が親鸞に帰依し、出家して信性房賢阿と号し、武蔵国秩父郡大岩(埼玉県秩父市)に普願寺を創立。その後4世賢善は、観応2(1351)年に信濃国高井郡小山(長野県須坂市)に移りました。

13世紀末の代、天正16(1588)年、巻の領主・西山庄左衛門泰継の懇請により当地に分寺して、大岩山普願寺と称しました。現在でも檀家の中に信州から来たと伝えている家々があります。



慶長20(1615)6月、西本願寺12世准如より妙高(光)寺の号を受けて現在に至っています。かつて蓮光寺という前寺がありましたが、明治28(1895)年、中環城郡に移転。上越市高井町の蓮光寺のことと想われますが、この蓮光寺も普願寺と共に信州から来たことを伝えています。

## ■安養寺(あんようじ)

堂谷山浄光院安養寺(浄土真宗本願寺派)は加賀から移ってきています。安養寺はもと、比叡山堂谷の天台宗浄光院で、花山天皇の公達・源泰通が得度して院王になったといわれています。このいわれが、現在の寺の山号、院号に反映しているでしょう。安養寺は堂谷姓です。



その後、源平合戦のころ、時の院王は難を逃れて諸国を流浪し、文明年間(1469年～)加賀国能美郡漢町に落ち着きました。たまたま運如聖人巡化にめぐりあつて真宗に改宗し、吉崎丸馬の内第三に列せられました。

越後ではまず赤塚に落ち着いて安養寺と称しましたが、現在赤塚にある安立寺(本願寺派)が寺内でした。

その後、江戸時代になって、寛永年中(1624～1643年)巻の割元(大庄屋)桶浦家の勧めで巻に移転しました。

## ■長巖寺(ちようこんじ)

蒲原山長巖寺(浄土真宗本願寺派)は寺伝によれば、陸奥国・阿部貞任(平安後期、北上川流域の豪族。前九年の役で源頼



義・義家と戦った)の一族、磐井五郎家任が出家して良慶と称し(長巖寺は阿部姓)、治暦4(1068)年、蒲原郡蒲原村に真言宗の一字(いちう)を開創。5代慶西が建暦元(1211)年、親鸞に帰依して真宗に転じて長巖寺となり、近辺に76の末寺、1万3千余の門徒を有して「蒲原真宗最初の道場」といわれました。

その後、8代慶祐が小須戸に移り、天正年間(1573～91年)に現在地に移りました。





### ■ 専福寺(せんぷくじ)

鷺森山専福寺は、大和国飛鳥の真言宗願成就寺住職であった吉藤興善が寛正元(1460)年、蓮如の弟子となり転宗(専福寺は吉藤姓)、文明9(1477)年に越前国吉崎に専善坊を創立。6世浄善の代、元龜年中(1570~72年)紀州・鷺森に移りましたが、天正7(1579)年竹野町に来て専福寺と改宗(前年に上杉謙信没)、慶長8(1603)年、巻に移ったといわれています。

なる直前に、曾根から巻に移り、そのまま巻に郡役所がおかれることとなりました。

明治11(1878)年に制定された地方三新法は、郡区町村編成法・府県会規則・地方税規則の総称ですが、これによって明治政府初の統一的地方制度ができました。

郡区町村編成法にもとづき、明治12(1879)年4月、蒲原郡は西・南・北・中の4郡に分割されました。西蒲原郡の町村数は

1町・365村であり、戸数2万4638戸、人口は13万5638人でした。郡役所は巻(専福寺仮庁舎)におかれ、初代郡長には両宮広



厚が任命されました。両宮は茨城県土族の出身で、巻警察署の六等警部。自由民権運動の盛んな西蒲原には、両宮のような警察官出身の郡長が配置され、村々に対して指導・監視を行ったのでした。

郡役所がおかれた巻には、警察署や裁判所出張所などの諸機関も配置され、「郡都」として西蒲原の中心的位置を占めていくことになります。

現在の「すわ保育園」の場所に郡役所が新築・移転したのは明治14年です。

### ■ 諏訪神社

越後の諏訪神社は農業との関係が深いものです。諏訪神社は信州の諏訪湖畔から広まったもので、越後では耕地開発の神様であり、風水害除去の神様です。

巻の諏訪神社の由緒は不明ですが、嘉永元(1848)年に再建立と伝えられ、改築に際して発見された様札以外に歴史的な



資料は何も残っていないようです。

ただし、慶長5(1600)年「巻村内検地帳」の地名に「すわのき」「すわの木の下」および「くさなき」があって、草葎社とともに諏訪社が存在していたことをうかがわせます。当時の諏訪社はNTT前の元諏訪付近にあったといわれています。

昭和38年発行の巻町双書「巻村史話」における古老の話によると…

「今のお諏訪さまのところには、むかし長嶽寺さまがいられたのだけれど、二度も火事によられ、こんな町なかは危なくいられないというので、当時はヤマの中であった今の場所に移られた。そしてその跡へ、元諏訪にいられた諏訪さまが、こっちはこっちで毎年大水で弱っていられたので、これ幸いと越してこられたということです。」



### ■ 巻神社(横神明宮)

巻神社の由来は不明ですが約450年前、当時別当が不在だったため、現在の宮司久我家が着任したといわれているので、それ以前から続く由緒ある神社です。天文年間には上杉家から折願社に定められ、「紺地日の丸」「白地に黒」字の陣中旗、家紋

付の幕、纏提灯の寄進がありました。約250年の伝統をもつ巻神社「神輿渡御」には、この陣中旗がお供し、町内にこの旗が飾られます。

現在の巻神社は、明治の廣仏殿取までは修験として高い地位を持った「北国文殊院正徳寺」という天台宗本山派の寺でした。正徳寺の前身は、永禄から天正のころ(1560~80年代)紀州熊野山のなかで熊野十区の軌頭と仰がれた修験者「宥伝」によって開基され、紀伊・大和・伊勢三国の修



験470か寺を末寺として擁し、北陸道七か国と奥羽二か国の修験道装束頭として本山派を統括する大寺院、北国文殊院久我氏として活動していました。のち戦国の動乱で熊野から逃れ新潟(赤塚)に退避していたところ、巻に迎えられたと伝えられています。

元和4(1618)年以降は巻を領した長岡藩牧野家より代々の領主祈願所の役を仰せつかり、藩主独礼・年頭挨拶などの許しを得ています。また、蒲原領の惣社に定められ、毎年の大祭には代官が藩主に代わって参拝するのを例としました。

寛文5(1665)年には、地元民から巻の神明宮や諏訪社などの別当職依頼を受け、神事も務めることとなりました。



## こみち みずみち 小路・水路・巻のまち





## 第1回(9月12日) 達人から学ぶ まちの楽しみ方, 商店街の取り組みを知る

- まち歩き 巻の基礎知識1  
～巻のまちなかを見る～
- 達人から学ぶ  
～まちの楽しみ方を知る～  
講師:野内隆裕さん
- まとめ  
～お気に入りの場所を記す～



## 第2回(9月26日)

### 達人から学ぶ まちの歴史、商店街の食と技を訪ねる

- 達人から学ぶ 巻の基礎知識2

～巻の成り立ちを知る～

講師: 亀井 功さん(巻の郷土史家)

- まち歩き

～グループに分かれ、役割を決めて出発～

- まとめ

～印象に残った場所、ガイドしたい場所を整理する～



## 第3回(10月3日)

### 達人から学ぶ おもてなし, まちなか案内コースづくり

- 達人から学ぶ ～おもてなし～

講師: 長谷川 美香さん

- まちなか案内コースづくり

～グループに分かれ, 案内コースを考える～

- 発表

～皆で考えた案内コースを発表する～



# ROJINRI

## 全国路地サミット2010 in NIIGATA

### ロジノリ! 自分のまちの楽しみ方

2010.10.23sat. 24sunt.  
23/10:00am - 24/10:00am  
会場:三景会館&まちのなか

参加募集

主催:全国路地サミット2010 in NIIGATA実行委員会  
共催:全国路地のまちづくり推進協議会、NPO法人まちづくりセンター  
協賛:新潟県、新潟県まちづくり推進協議会  
協賛:NPO法人日本まちづくり協会  
〒951-8501 新潟市中央区 三景会館  
TEL:025-224-3850

### 全国路地サミット2010 in NIIGATA、今秋いよいよ開催!

**23sat. 10:00-12:00 ●ROJINRI まちあるき (北条七尾神社街・白山神社旧町場)** ●定員30名

白山神社一古町・本町界隈の小道一帯を歩けば三景会館/シティガイド室内付

**10:00-11:00 ●路地サミットシンポジウム (12:00-13:00実行・三景会館)** ●定員100名

- 基調講演「城の下の路地―街の発展を支える街の歩き―」 講師:青川典久(元京大/イノベティ)
- 事例報告 (会場の路地のまちづくり推進協議会・丸の内/丸の内/丸の内/丸の内)
- パネルディスカッション「まちの楽しみ方」 その先に見えるもの

基調講演のあとの 新商品の販売見聞  
会場/三景会館 会場/三景会館 会場/三景会館 会場/三景会館  
13:00-14:00 会場/三景会館 会場/三景会館 会場/三景会館 会場/三景会館  
14:00-15:00 会場/三景会館 会場/三景会館 会場/三景会館 会場/三景会館

**11:00-11:30 ●交流会 第1部 シンポジウム会場にて** ●定員100名

**10:00-11:00 ●交流会 第2部 「まちあるき」会場にて** ●定員100名

- コース1「新潟と鳥の花園」 会場/三景会館 ●定員25名
- コース2「新潟のまちの楽しみ方」 会場/三景会館 ●定員12名
- コース3「新潟のまちの楽しみ方」 会場/三景会館 ●定員10名

**24sat. 10:00-12:00 ●新潟シティガイドが楽しめるみなとまちあるき** ●定員10名

- コース1「下町おもしろなまちあるき」
- コース2「古い街並みあるき」
- コース3「大町おもしろなまちあるき」
- コース4「本町・上町あるき」

●オプションツアー「新潟のまちあるき」  
9:30-11:30 定員20名  
開催:三景会館 会場/三景会館 TEL:025-224-3850

参加申込  
下記に記入の上、メール・FAXで  
10月15日(金)迄にお申し込み下さい。

日本書

氏名 \_\_\_\_\_  
所属 \_\_\_\_\_  
〒 \_\_\_\_\_  
住所 \_\_\_\_\_  
TEL \_\_\_\_\_  
E-mail \_\_\_\_\_

希望種別を/をいれてください

- 23日 ROJINRI まちあるき (500円)
- シンポジウム (参加費無料)
- 交流会1 (1000円)
- 交流会2 (6000円)・「新潟と鳥の花園」
- 新潟のまち (No. ) or (No. )
- 24日 みなとまちあるき (500円)
- 新潟のまち (No. ) or (No. )
- 新潟のまち・まちあるき (2000円)

childnryoku@city.niigata.jp  
fax.025-224-3850 (担当:鈴木)

詳しくは 新潟県 新潟市 新潟市 新潟市

●開催イベント●9/25-10/24 2010 in NIIGATA オフィス・アート・ストリート 開催中 ●新潟 オフィス・アート ●新潟

# 第5回(10月24日) 全国路地サミット2010 in NIIGATA 「鯛車のまち・巻あるき」

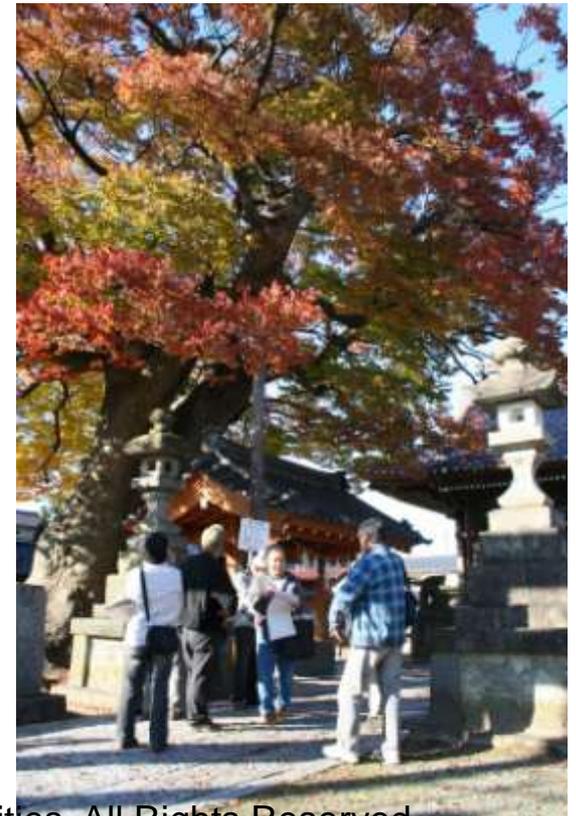
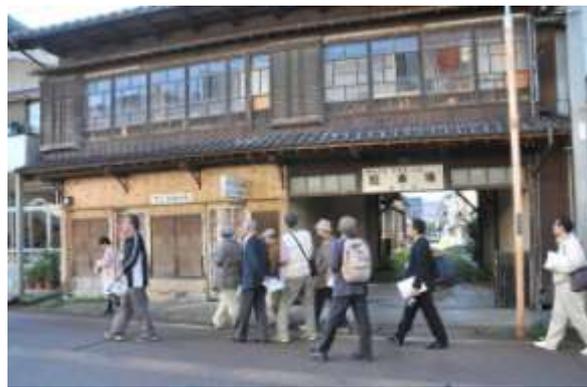
- 全国の路地マニアが「巻」に終結。  
勢いで「ガイドデビュー」しました！





## 第6回(11月7日) 新潟シティガイドさん、友人や知人を招いて 巻のまちなかをガイドしよう！

- まち歩きガイド実践
- 参加者と意見交換
- 終了証書授与

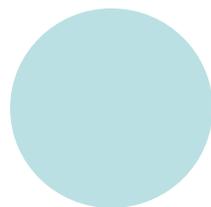
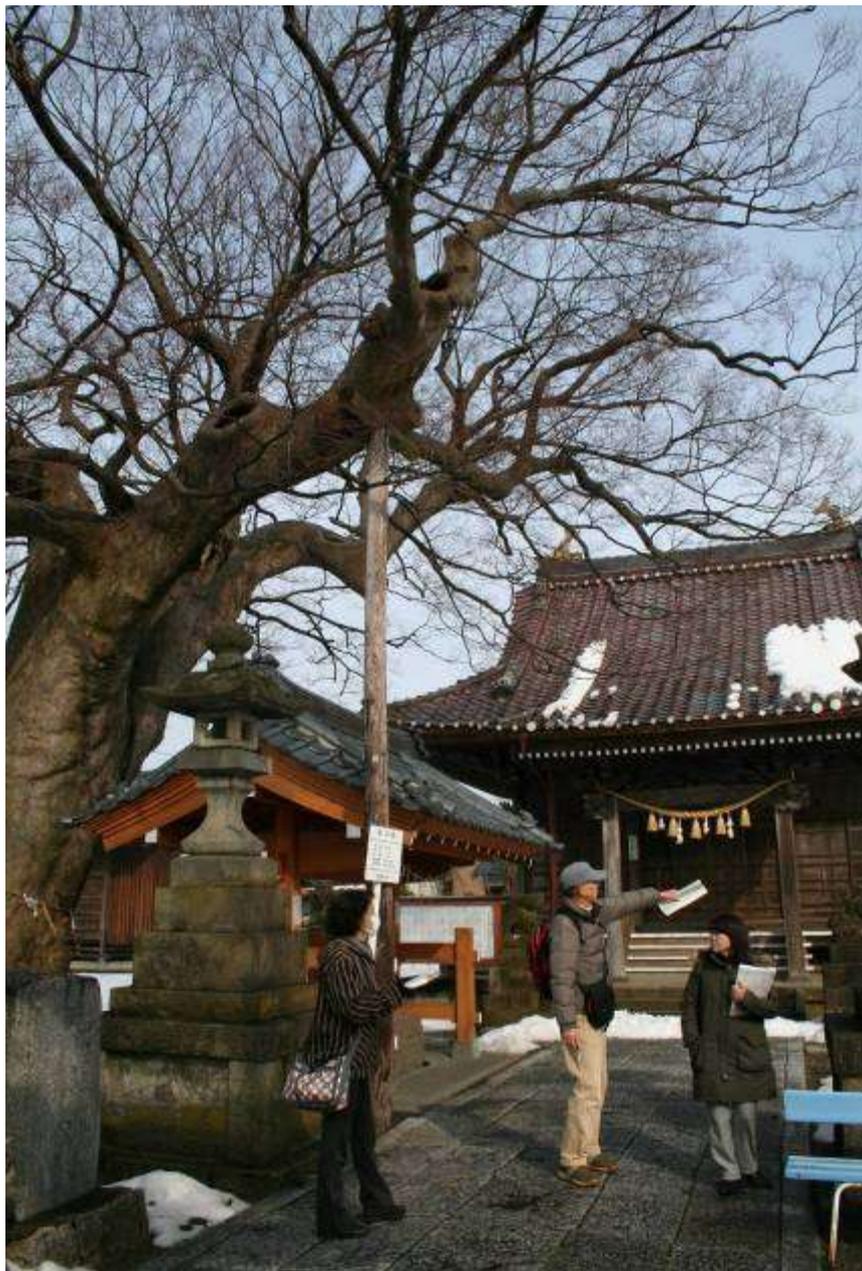


**講座は、2010年～2012年にかけて  
3回行いました。**

**講座参加者の有志で**

**「巻まちなかガイドの会」を立ち上げ、  
まち歩きガイドとして活躍しています。**

- 巻のまちなかのコースづくり  巻に関心をもつ
- まちなかガイドとして正式デビュー  巻の良さを伝える
- まちの人と仲良くなる  まちのコーディネーターに

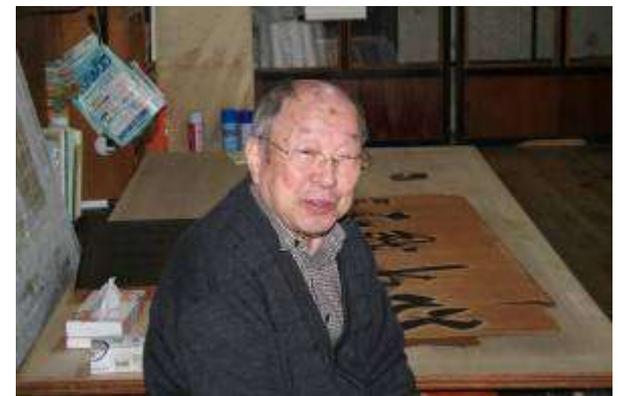


まちを歩くと  
新しい「発見」がある！





新しい「出会い」がある！  
まちを歩くと







色々な人たちが  
“巻”に関心をもって  
くれると嬉しいね！

# ●なぜ、地域活動に取り組むようになったのか

☞昔はにぎやかだった“まち”が年々、寂れていく悲しさ

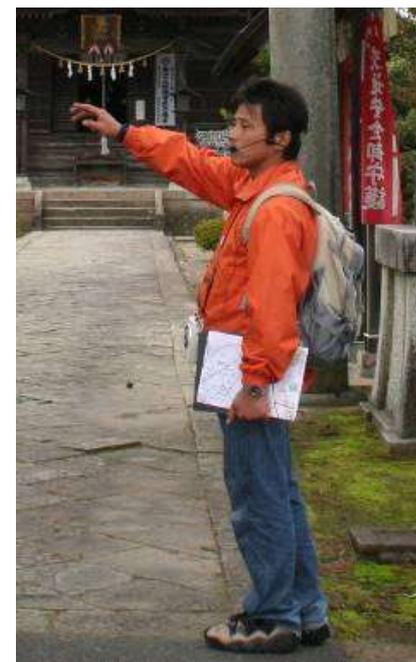
☞このままでは“まち”が消えてしまう

☞ウムム、何とかせねば・・・  
「危機感」が芽生える！

でもね・・・

☞仕事があるので土・日にできること

☞楽しみ・ワクワク感・やってみたいこと



何とかしたいなあ(妄想)



“まち”の成り立ち(歴史)や人々の営み(文化)を知る



知れば知るほど“まち”に対する「興味」、  
「愛着」と「誇り」が育まれる



自分なりの“まち”の「宝」(特色)が見えてくる



あれをこうしてみたいなあ(妄想)



とりあえず、やりたいことをやってみる(暴走)  
失敗したら別の道を考えればいい

**重要** (危機感や使命感だけではダメ。楽しさ・ワクワク感が必要)

## **仲間を作ろう！**

(一人は辛い。共感者・賛同者が必要。価値観を共有する)



## **目的をもって活動を継続する**

(単発イベントでは、まちづくりに繋がらない)



## **活動を続けていると、「人の輪」が広がる**

(人と人がつながることで、また新しいことが始まる)



## **それぞれの得意分野で活動が始まる**



**互いが連携することで、大きな「ウネリ」となっていく**



楽しいね。ワクワクするね。

何かを起こすためには  
「きっかけ」が必要

「言いだしっぺ」がまず動く。  
そうでなければ、周りの人  
は動かない。

人が動く理由は共感と感動。  
主体的な達成感が次への  
ステップにつながる。

活動の幅を広げるには、何  
よりも課題・情報の共有と  
情報発信



人間には一人ひとり違った表情があるように  
地域にもすべて違った表情があり、個性がある。  
その個性を磨いて独自の価値を持った地域の文化を育むことが  
そこに生きる人たちの暮らしやすさと生きがいにつながっていく。

# 人の和(輪)で紡ぐ “オンリーワン” のまちづくり

2013年10月29日

## 第3回地域コミュニティの活性化に関する研究会

---

無断転載、複製および転訳載を禁止します。

引用の際は本書（稿）が出典であることを必ず明記してください。

This paper is copyrighted and may not be copied or duplicated in any manner including printed or electronic media, regardless of whether for a fee or gratis without the prior written permission of the authors and Japan Center for Cities. Any quotation from this paper requires indication of the source.



公益財団法人

日本都市センター